

◆英語運用能力について

資料5

学校	独自取組		外部検定試験								評価	
	主な取組	取組 詳細	英語検定 合格者 (受験者)	TOEIC受験者 (最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者（最高スコア、平均スコア） iBT：120点満点 ITP Level 1：677点満点 ITP Level 2：500点満点 Junior：900点満点 TOEFL iBT Complete Practice Test	TOEFL 合計人数（iBT ITP, Junior, Complete Practice Test） （iBT, Complete Practice Test上位 30名平均）	その他	TOEFL に係る 評価	英語 検定	その他		
北野	①英語による講演 ②1年間の留学生受け入れにより様々な交流会を実施 ③「学内留学講座」の実施 ④native教員による独自教材の作成と活用	⑤海外でのフィールドワークの実施（シアトル研修、台湾研修、デンマーク研修） ⑥即興型英語ディベート実践	裏面 記載	1級1名 準1級7名 2級2名 （22名）			IELTS 2名	-	-	-	-	
豊中	①ディベートチーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④ディベートセミナー	⑤大阪大学留学生交流 ⑥国内留学プログラム ⑦英語語学研修	裏面 記載	準1級16名 2級14名 （49名）	公開 2名	iBT 1名	1名	GTEC 1名	-	-	-	-
茨木	①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イマージョンプログラム」の実施 ④インドネシア学校交流	⑤Beyond J（シンガポール海外研修）	裏面 記載	1級2名 準1級9名 2級4名 （18名）	公開 1名	iBT 2名（最高66） ITP Level 1 1名	3名		-	-	-	-
大手前	①英国交流、研究発表および生徒交流（10名） ②グローバルスタディーズプログラム（60名） ③シンガポールGL、語学研修（60人）実施		裏面 記載	準1級3名 2級13名 準2級1名					-	-	-	-
四條畷	①（第1学年）英語の校内歌唱コンテストの実施 ②（第2学年）英文エッセイの作成および外部コンテストへの応募 ③（希望者）オーストラリアの高校生とのオンライン交流 ④（希望者）台湾の高校生とのポストカードの交換	⑤（希望者）海外からの高校生の学校訪問時のスクールバディとしての活動	裏面 記載				GTEC 706名 （最高1241、平均946.7）	-	-	-	-	-
高津	①実用英語技能検定2級の取得を促す。 ②オンライン交流会をはじめ、台湾サイエンスツアーや東アジア太平洋青年環境フォーラムへの参加者に対する英語でディスカッション指導。	③KITEC（Kozu Intensive Training of English Communication）1年生全員（基礎）・2年希望者（応用） ④GULS（Global Understanding with Local Skills）国際交流センターと連携した英会話、ディスカッション等	裏面 記載	1級1名 準1級2名 2級59名 準2級16名	公開 2名	iBT 1名	1名	IELTS 1名	-	-	-	-
天王寺	①TOEFL Juniorの1・2年生全員受験 ②Native TeachersによるEnglish Caféの定期開催 ③1年生対象のScience English（大阪大学留学生を招聘）実施		裏面 記載	1級1名 準1級6名 2級9名 （32名）		Junior 632名（最高900、平均771） iBT 1名	633名		-	-	-	-
生野	①1・2年生全員のTOEFL Junior受験 ②SSH探究に成果発表会で英語オーラル発表		裏面 記載			Junior 700名（最高880、平均722）	700名		-	-	-	-
三国丘	①SGH事業の実施 ②4技能統合型授業の実施 ③海外の高校生との交流 ④海外研修の実施	⑤英語による課題研究発表	裏面 記載	準1級3名 2級4名 （7名）					-	-	-	-
岸和田	①英検 問題集貸出・添削指導・面接指導 ②English Café		裏面 記載	準1級2名 2級14名 準2級1名 （25名）	公開 2名	iBT 1名	1名		-	-	-	-

英語運用能力を育成する取組（参考）

学校	独自取組	
	主な取組	取組概要
北野	①英語による講演 ②1 年間の留学受け入れにより様々な交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④native 教員による独自教材の作成と活用 ⑤海外でのフィールドワークの実施（シアトル研修、台湾研修、デンマーク研修） ⑥即興型英語ディベート実践	ICTやクロムブックを活用し、「発信型でアクティブな授業に変える」取組が充実している。民間教育機関を活用した「学内留学講座」を4 回実施し、生徒たちは、ネイティブスピーカーの指導のもと、様々なトピックについて英語で思考、判断、表現、討論する機会をもった。以前にSET が作成した数本（5 冊）を毎年設定、活用し、4 技能を総合的に鍛える授業を行った。即興型英語ディベートも1 年生全体で導入し、希望者が関西大会、全国大会へと進んだ。海外研修については、7 月に台湾、3 月にシアトル、デンマークでの研修を行った。
豊中	①ディベートチーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④ディベートセミナー ⑤大阪大学留学生交流 ⑥国内留学プログラム ⑦英語留学研修	①1・2 年生の希望者を対象に月・木の放課後、即興型ディベートの練習を行った。 ②1 年生全員を対象に即興型英語ディベート体験を行った。 ③全学年の希望者を対象に土曜講座の中でリスニングを行った。 ④1・2 年生の希望者を対象に英語ディベートセミナーを行った。 ⑤1 年生全員を対象に大阪大学からの留学生と交流を行った。 ⑥1・2 年生の希望者を対象に国内留学プログラムを行った。 ⑦1・2 年生の40 名が夏季休校中に13 日間の英語留学研修旅行に参加した。
茨木	①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イマージョンプログラム」の実施 ④インドネシア学校交流 ⑤Beyond J」（シンガポール海外研修）	①2 年「ディベートディスカッションⅡ」の授業にて、「日本政府はSNS を検閲すべきか」、「日本においてカジノは禁止されるべきか」、「死刑制度は廃止されるべきか」といった社会的なテーマについてディベートを実施。論理的思考力を育成する。 ②大阪大学等の留学生を本校に迎え、プレゼンテーション、質疑応答、ディスカッションや交流を行うR&S プログラムに1 年生全員が参加。 ③休校中2 泊3 日間で実施される英語漬けプログラム、ネイティブスピーカーによって少人数での講義が展開される。最終的に1 年生はグループプレゼンテーション、2 年生はディベートを行う。1 年生、2 年生 80 人が参加。 ④インドネシアの高校から19 名の生徒が来校し、本校生徒と交流をした。高校紹介や、お互いの文化の紹介を英語で行った。1 年24 人が参加。 ⑤令和7 年3 月5 日～11 日に1 年24 人、2 年5 人がシンガポールを訪問し、現地の大学生と交流やディスカッションを行った。
大手前	①英国交流 研究発表および生徒交流（10 名） ②グローバルスタディーズプログラム（60 名） ③シンガポールGL 語学研修（60 人） 実施 ④海外の高校生交流受入（台湾）	①英国提携校への生徒訪問による現地交流。 ②外国人留学生とのオールイングリッシュでの探究型研修。 ③シンガポールにて現地大学生との交流を実施。 ④授業への参加、放課後の歓迎会・クラブ体験を通して交流を行った。また、帰国後もオンラインによる課題研究発表など継続的な交流を続けており、令和7 年度は課題研究に関する台湾の発表会の実施を予定している。
四條畷	①〈第1 学年〉英語の校内暗唱コンテストの実施 ②〈第2 学年〉英文エッセイの作成および外部コンテストへの応募 ③〈希望者〉オーストラリアの高校生とのオンライン交流 ④〈希望者〉台湾の高校生とのポストカードの交換 ⑤〈希望者〉海外からの高校生の学校訪問時のスクールバディとしての活動	①英語の校内暗唱コンテスト：1 年生全員について、まとまった量のスピーチを暗記し、クラス予選を経て全体でのコンテストを実施。 ②英文エッセイの作成および外部コンテストへの応募：2 年生全員が夏期の課題として5 ハラグラフ程度の英文のエッセイを作成し、リライトを経て優れた作品については校外のコンテストに応募する。 ③希望者：オーストラリアの高校生とのオンライン交流を、お互いの学校生活や文化をトピックにして昼休みを実施した。 ④台湾の高校生と年賀状など交換し、お互いの文化についての理解を深めた。 ⑤オーストラリアおよび台湾の高校生が本校を数日間滞って訪問した際、歓迎会や放課後のクラブ体験、昼食会や文化祭の案内などを、スクールバディとして企画、運営に携わった。
高津	①実用英語技能検定2 級の取得を促す。 ②オンライン交流会をはじめ、台湾サイエンスツアーや東アジア太平洋青年環境フォーラムへの参加者に対する英語でディスカッション指導。 ③KITEC（Kozu Intensive Training of English Communication） ④GULS（Global Understanding with Local Skills）	①英検第2 回において1 次試験の準会場として積極的に受験を促した。 ②オンライン交流会、台湾サイエンスツアー、東アジア太平洋青年環境フォーラムで英語でコミュニケーションやディスカッションを行うための事前学習を各数回行った。 ③1 年生全員（基礎）・2 年生希望者（応用）を対象とし、ネイティブ講師を招いて、一日少人数で英語漬けのワークショップを行った。 ④希望者を対象に、国際交流センターと連携し、英会話、ディスカッション等を行った。
天王寺	①TOEFL Junior の1・2 年生全員受験 ②Native Teachers によるEnglish Caf é の定期開催 ③1 年生対象のScience English （大阪大学留学生を招聘）実施	①TOEFL Junior で英語力の伸長を測り始めた本校7 6 期が令和5 年度（令和6 年3 月）初めて卒業したが、スコアが高い生徒は自身の進路を実現していた。内、3 名が海外大学に進学した。実施4 年目を迎え、本校の取り組みとして定着している。 ②毎週金曜日放課後、定期的に希望生徒を対象に実施。令和6 年度は2 年生よりも3 年生の参加が多かった。定期的に参加したエ3 年生の内、京都大に1 名、東北大に1 名進学した。 ③SSH の取り組みの一環として1 年生1 月に実施。英語力をより高めたいという生徒の意欲を育む機会となっている。
生野	①1・2 年生全員のTOEFL Junior 受験 ②SSH 探究に成果発表会で英語オール発表	1 年受験時のスコアを伸ばし、2 年次で学年の50 %以上の生徒が710 ポイント（英検2 級合格ライン）以上を得点することを目指す。
三國丘	①SGH 事業の実施 ②4 技能統合型授業の実施 ③海外の高校生との交流 ④海外研修の実施 ⑤英語による課題研究発表	①フィリピン大学によるリーダーシップ研修研修を実施。 ②1・2 年生全員に4 技能統合型の授業を実施。 ③韓国、台湾の高校との国際交流実施。（主に英語で意思疎通を行う。） ④米国NASA ツアー実施、オーストラリア海外研修実施。 ⑤全国高校生フォーラムに参加。 フィリピンでプレゼンテーション実施。留学生交流会、校内の課題研究発表会にて発表。
岸和田	①GLP 校内版 ②英語研修 ③オーストラリア イマージョンプログラム ④English Caf é ⑤英検 問題集貸出・添削指導・面接指導	①校内で留学生と共に課題に取り組み、恒々と最終発表を実施する。 ②シンガポール研修の大学等に各自研修を経て各自研修を行った。 ③ホームステイ先から現地の高校に違い、バディとともに授業を受ける。 ④ネイティブ講師による話す力強化のための講座。希望者対象に年1 6 回実施。 ⑤英検受験者を対象に、問題集の貸し出し、添削指導、面接試験指導を行う。